十日町市

# Tokamachi ぎかいだより

令和8年11月10日発行

CONTENTS No.92


令和７年度決算審査 …… 2-3P
一般質問 …… 4-9P
議会をPick-Up! …… 10P
議案の審議結果 …… 11P




## 空を彩る秋〈十日町市吉田〉

（写真：十日町総合高校写真部）

# 令和7年度 会計 決算審査特別委員会審査報告

９月定例会に上程された令和７年度の各会計決算について、決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

委員会は、村山達也議長と根津年夫監査委員（議会選出）の２人を除く17人で構成され、より詳細な審査を行うため３つの分科会に分かれ、「決算書」や「主要な施策の成果報告書」などの資料を基に審査し、採決の結果、すべての会計で決算が認定されました。

審査過程での要望・意見について、委員長の審査報告から主な内容をお知らせします。

一般会計の前年度比

**歳入 +0.8%**
**歳出 +0.8%**



決算審査特別委員長
**富井高志** 議員

## 令和７年度各会計収支

| 会計名 | | 歳入 | 歳出 |
|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 411億7,946万円 | 392億6,703万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 50億1,415万円 | 47億9,920万円 |
| | 国民健康保険診療所 | 2億6,888万円 | 2億4,336万円 |
| | 訪問看護事業 | 6,130万円 | 4,804万円 |
| | 後期高齢者医療 | 9億558万円 | 8億8,016万円 |
| | 介護保険 | 79億8,419万円 | 76億9,218万円 |
| | 松之山温泉配湯事業 | 3,444万円 | 1,614万円 |
| 合計 | | 554億4,800万円 | 529億4,611万円 |

※各項目は千円以下を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

## ◆一般会計

**【歳入】**

財政調整基金が30億円を超えた意義は大きいと評価します。一方で、社会保障関連経費の継続的な増加や、公共施設の老朽化対策に係る経費の増大、頻発する自然災害等も想定されることから、今後も安定した財政運営を図るとともに、計画的な財源の確保及び将来を見据えた投資を可能とするため、法人市民税やふるさと納税等の増額につながる取り組みを進めていただくことを望みます。

**【歳出】**

**総務費** とおかまち応援寄附金募集経費について、寄附メニューの増加を望みます。また、現地決済型ふるさと納税について、清津峡、十日町駅観光案内所、博物館などに増設していただきたい。



第１分科会

**民生費** 少子化に伴う保育環境の変化や各園の運営状況を踏まえ、私立こども園等との連携を図りながら、子どもを真ん中に据えて、子育てと仕事の両立ができる保育環境の維持・拡充を望みます。

**衛生費** 県立十日町病院での分娩が早期に再開されるよう全力で取り組むとともに、現在市外での出産を余儀なくされる妊産婦の負担軽減の拡充を図り、妊娠期から産後まで安心して相談支援を受けられる体制の維持・拡充を強く望みます。



第２分科会

### 決算審査特別委員会とは？

議会が、各会計の決算についてその内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ適正に行われたかどうかを確認するために設置されるものです。



第３分科会

**農林水産業費**　中山間地等直接支払い制度の対象面積が減少するなど、水稲農家の担い手不足や高齢化等が懸念されます。担い手確保のための取り組みや新規就農者に対する十日町市らしい支援の継続を望みます。

**土木費**　道路新設改良工事について、いわゆる上沼道十日町道路へのアクセス道路として重要な役割を果たす高山水沢線の早期開通に向けた取り組みを望みます。

**教育費**　小・中学校の空調設備については、普通教室から特別教室へと整備が進められています。体育館の空調設備については、小学校はできるだけ早期に整備を進めるよう求める一方、中学校については、将来的に１校への統合を見据え、整備方法や整備時期等について、将来的に無駄が生じることのないよう十分な検討を行っていただきたい。

## ◆訪問看護事業特別会計

訪問看護ステーション「おむすび」について、令和７年度の利用状況や人員配置の効果を検証するとともに、24時間対応や緊急時対応等を含む職員の業務量・負担状況を把握し、職員に過度な負担が生じることのないよう、地域の在宅療養を継続して支えることのできる持続可能な訪問看護体制の構築に向けた取り組みを望みます。



決算審査特別委員会
正副主査会議の様子




令和７年度決算の詳細は、「市報とおかまち10月号」に掲載されています。

# 討　論





詳細は、９月定例会最終日の録画中継をご覧ください。

## 反対　農業・医療・福祉・介護を守れ

一般会計の形式収支は19億１、２４３万円ですが、監査資料によると単年度収支は前年度に引き続き１億５、１９８万円の赤字です。

農業は、高齢化と農業離れが続き、特に中山間地域が深刻です。国土保全・多目的機能を有する農地を守るためにも、農家が安心して従事できるように国・県に支援拡充を働きかけ、市独自の施策を求めます。

大地の芸術祭は、運営費や管理費等で４億円近くを支出していますが、当市への経済効果は明らかになっていません。市民主体の芸術祭に移行し、事業費の抑制を求めます。

学校再編は、各地域には昔からの文化・伝統が息づいています。統合ありきを前提とした議論でなく、地域活性化の視点からも、地域住民の声を踏まえた論議を重ねることが重要です。

国民健康保険は、未就学児の均等割をなくしましたが、市として対象年齢を拡大し、国に対しても均等割制度撤廃の要求を求めます。また、個人事業主の保険税の軽減措置を望みます。

後期高齢者医療及び介護保険は国の制度ですが、運営しているのは十日町市です。高齢者の負担増を抑え、安心して健康に暮らせるよう、議会として国に対し制度改善を求めていく責任があることを指摘し、反対討論とします。

樋口富行　議員

## 賛成　魅力度向上と市政の発展を願う

令和７年度は、第二次十日町市総合計画後期基本計画の締めくくりであり、５市町村合併20周年という節目の年でした。中東情勢の緊迫化による原油・エネルギーや小麦等の価格高騰など厳しい状況の中、国・県の補助金を有効に活用し、市民生活の安全とサービス向上に努めた財政運営を評価します。

一般会計及び６特別会計の歳入総額は５５４億４、８００万円、歳出総額は５２９億４、６１１万円となり、差引２５億１８９万円となりました。また、市税の徴収率98・６％は県内トップレベルであり、徴収業務の努力を高く評価します。

骨格予算から肉付け補正する初めての予算編成も、大きな混乱なく事業が完遂されました。主な事業では、市道高山水沢線工事への着手、クマ被害に対する緊急対策、干ばつ応急対策、介護人材確保への支援、物価高騰対策、要援護世帯の除排雪支援、川治小学校体育館への空調設備設置など、市民の安心・安全と地域の暮らしを支える施策が実施されました。

今後は、さらなる業務効率化とともに、優先度の低い事業の見直し・廃止にも取り組まれることを期待します。新たな10年の指標である「雪と生きる。大地に遊ぶ。未来を創造するまちとおかまち」の実現に向け、魅力度の向上と市政の発展を願い、賛成討論とします。

野沢浩平　議員

# ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、11人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。




| 質問議員 | 質問事項 | ページ |
|---|---|---|
| 滝沢青葉 | 地域包括ケアシステムの体制・内部統制制度について | 4 |
| 星名大輔 | 関係人口の創出・拡大について | 5 |
| 市川直子 | 人口減少の現状分析と今後の取り組みについて | 5 |
| 野沢浩平 | 市内温浴施設の持続可能な運営について | 6 |
| 富井春美 | 第10期介護保険事業計画に向けてと学区再編について | 6 |
| 滝沢　繁 | 持続可能な農業について | 7 |

| 質問議員 | 質問事項 | ページ |
|---|---|---|
| 中林寛暁 | 人口減を見据えた公共施設について・大地の芸術祭の今後 | 7 |
| 水落静子 | 十日町市のこれからの農業、担い手育成支援について | 8 |
| 根津年夫 | 高齢者支援とこどもたちの学びの充実について | 8 |
| 福崎哲也 | 十日町市の観光資源の展望について | 9 |
| 樋口富行 | 憲法と障害者権利条約を踏まえた障がい施策を | 9 |




## 地域包括ケアシステムの体制・内部統制制度について

滝沢青葉　議員

**質問**　**十日町市における地域包括ケアシステムの構築と運用について、❶これまでの体制整備の成果と課題、今後の展望について❷新たな施設整備の検討状況を伺います。**

**答弁**　①地域包括ケアシステムの基幹的な機能を有した医療福祉総合センターを拠点に、十日町病院や市内介護事業所の連絡会議等を通じて多職種が連携できる体制づくりに努めています。また、市立訪問看護ステーションおむすびは高齢者の在宅生活を支えるなど、一定の成果を上げています。一方、介護を必要とする高齢者の増加と生産年齢人口の減少に伴う介護人材の確保が喫緊の課題です。今後も在宅生活を支援するため民間訪問看護ステーションへの財政支援や住民主体の訪問型サービスの実施、医療ＤＸ等を進め、誰もが安心して医療を受けられる体制を整えていきます。②ケアホーム下条の増築工事、養護老人ホーム妻有荘の改築工事、障がい者支援施設なかまの家の移転新築工事などの施設整備を進めることは、地域包括ケアシステムの充実に大きな役割を果たすものと期待しています。

**質問**　**地方自治法に基づく内部統制について、❶現在の当市における整備・評価状況❷努力義務ではあるが内部統制体制の今後の整備・報告方針について、市の考えを伺います。**

**答弁**　①現在、当市では方針を策定していませんが、コンプライアンスの徹底、また財務事務の確認及び監査委員の指摘事項を踏まえた事務処理適正化など、一定の内部統制の下で実質的なリスク管理に取り組んでいます。②現時点で、方針策定の予定はありませんが、今後、職員体制や事務負担等を総合的に勘案した上で、他自治体の動向も注視しながら、方針策定の必要性を研究していきます。

●十日町市「地域包括ケアシステム」イメージ図




出典：十日町市第９期介護保険事業計画



## 関係人口の創出・拡大について

**星名大輔 議員**

**質問　当市は今後も人口減少局面が続くと見込まれ、様々な場面で担い手が求められています。地域づくりの新たな担い手として期待されているのが「交流以上、定住未満」の関係人口です。これから関係人口の創出・拡大を十日町市の施策の柱にしてほしいと思いますが、市長の姿勢をお伺いします。**

**答弁**　人口減少が続く中、地域の担い手確保は大きな課題であり、定住人口でも交流人口でもない、地域の担い手として継続的に十日町市に関わっていただける関係人口を増やしていくことが重要であると考えています。

以前から、出身者で組織する各地域の郷人会をはじめ、こへび隊やプロモーション大使、実践女子大学との連携協定など、大地の芸術祭をきっかけに当市と関係を深めている事例もあります。また、棚田バンクの活動や越後田舎体験事業は、当市の魅力である農業を切り口とした関係人口の取り組みと考えます。これ以外にも様々な交流が各地域で行われており、関係人口の創出につながる先進的な動きが長年にわたって築かれていると捉えています。

国では、ふるさと住民登録制度を今年度末から開始する予定です。この制度を入り口として、関係を段階的に深め、地域の担い手確保や地域経済の活性化につなげる取り組みが検討されており、当市でも準備を進めています。

関係人口施策を継続的かつ効果的に進めるため、地域の受入れ態勢の整備や合意形成、中間支援組織と連携した相談窓口の整備、活動の効果の可視化などが重要と認識しています。ふるさと納税や地場産品の購入など、多様な関わり方も含め、地域資源や取り組みを有機的に組み合わせながら、地域外の多様な人々が継続的に関われる環境整備を図っていきます。

新潟県「棚田みらい応援団」
マスコットキャラクター　棚田みらいちゃん



棚田を通じた交流も関係人口拡大の取り組みの1つ



## 人口減少の現状分析と今後の取り組みについて

**市川直子 議員**

**質問　近隣自治体より人口減少幅が大きい要因をどのように分析しているか。**

**答弁**　当市では死亡者が出生者を上回る自然減少に加え、進学を機に若年層の市外転出が続いていること、豪雪や地理的条件、交通インフラ整備の遅れなどが要因と考えています。また、雪を活用した冬季間のビジネスが十分でないことも大きな要素と考えています。

**質問　これまでの人口減少対策で効果があった施策と課題、その評価を今後どう生かすか。**

**答弁**　移住・定住や子育て支援、関係人口の創出、地域おこし協力隊の定住、看護専門学校の開校による学生の市内定住など、転出超過の抑制や移住者の増加に取り組んできました。一方、進学等を機に人口が流出すること、職場の選択肢が都市部に比べ少ないことなどが課題です。今後は十日町市の応援団を増やし、地域の維持や活性化を図っていきます。

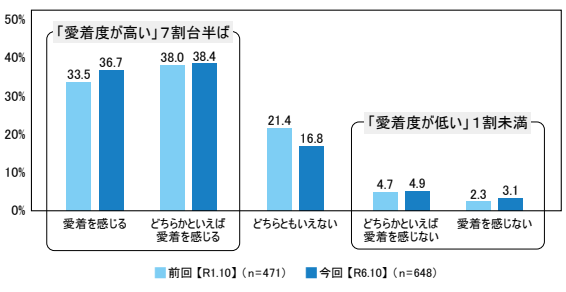
**質問　❶十日町に暮らす若者は何に満足し、何に不安や不足を感じているか、その声を把握しているか。❷若者の声を施策にどう反映したか。**

**答弁**　①市のアンケートでは、雇用や交通、除雪分野で若年層の不満が高く、娯楽施設がないなどの声もありました。県の意識調査では、希望する就職先の少なさやジェンダーギャップへの閉塞感が指摘されています。②高校生等への職業紹介や郷土愛を深める教育、ライフデザインセミナーを開催し、若者が地域に戻る取り組みを進めています。

**質問　人口減少を抑えるため、限られた予算や人員をどの分野に重点的に振り向けるか。**

**答弁**　若者に対し、十日町市の魅力を発信していくとともに、関係人口など十日町推しの人を増やす取り組みにも注力していきます。

●十日町市への愛着の有無




若者が『住みたい・戻りたい』と思ったとき、選べる十日町市に
出典：十日町市「第３期十日町市人口ビジョン」



## 市内温浴施設の持続可能な運営について

野沢浩平 議員

**質問** **市内温浴施設は、健康増進や交流、観光振興を支える重要な公共財産です。一方、利用者減少、施設老朽化、光熱費高騰など課題もあります。各施設の利用者数・収支・修繕費と今後十年間の更新費用を踏まえた運営方針を伺います。**

**答弁** ６つの公共温浴施設の令和７年度の収支は、全体で約２、６００万円の支出超過です。令和７年度の修繕費は６施設合計で約１億１、２００万円です。利用者数は、新型コロナウイルス感染症や利用料金値上げの影響で一時減少しましたが、現在は回復傾向にあります。今後10年間で見込まれる修繕費用は、総額で約８億円を想定しています。引き続き、各施設の在り方を見据えながら、中長期的な視点に基づいた計画的な投資と、観光資源としての活用促進を通じて、指定管理者とともに持続可能な運営を進めます。

**質問** **第10回目を迎える大地の芸術祭や松之山温泉、清津峡、道の駅と連携し、利用者増加につなげる具体策を伺います。**

**答弁** 来年度開催の大地の芸術祭第10回展は大きな誘客機会であり、温浴施設の利用促進に向け、前回展で好評だったパスポート割引の実施を検討しています。松之山温泉むすめを活用した誘客や、清津峡、道の駅など多くの観光客が集まる施設で積極的にＰＲを行います。また、各施設の指定管理者がこれまでの創意工夫により取り組んできた時間帯割引や回数券・会員券の販売、送迎バス運行、イベント風呂、スタンプラリーなどを引き続き実施し、利用者の増加に努めます。





## 第10期介護保険事業計画に向けてと学区再編について

富井春美 議員

**質問** **第９期・10期介護保険事業計画について❶第９期の成果と課題❷10期の方向性❸特定地域サービスの内容について❹介護保険法改定により、基準緩和、訪問介護の出来高制、特定地域居宅サービス等に問題があると報道されていますが、市長のお考えは。**

**答弁** ①介護職員の不足が懸念され、令和７年度、介護人材の確保・離職防止のための支援を創設し、介護ロボット等の機器の導入、４名の介護人材の確保につながっています。また、介護予防に向け、訪問型サービス活動Ｃ事業（短期集中指導）、訪問によるリハビリテーションを実施し、令和７年度利用者数は延べ６４９人です。当市の介護認定率が20％を超え、要支援１・２の割合の増加が課題です。②第９期介護保険事業計画の取り組みを基本としつつ、各種調査結果や今後の人口動向等を踏まえ、国の通知に基づき策定します。③事業所の実情を踏まえた報酬設定と職員配置基準を弾力化するもので、今後国から詳細が示される予定です。④現場の実態がどのように変化する可能性があるか鋭意調査し、適切に対応していきたいと思います。

**質問** **学区再編について❶中学校１校の予定規模❷学校用地決定後の住民説明会の開催❸今ある学校を存続させる地域住民の意思決定は尊重されるか。**

**答弁** ①現在の市外への学校や特別支援学級への就学状況が継続すると仮定した場合、通常の学級は、令和16年度では３学年で14学級程度、18年度では12学級程度と見込んでいます。②具体的な場所が決定した段階で、各地域での説明が必要と考えており、今後、地域自治組織連絡協議会と相談・協議していきます。③地域の皆さんが納得していただいた形での選択と思っています。最終的に地域での意思決定を基に学校再編を行っていきます。




第10期介護保険事業計画の充実へ



## 持続可能な農業について

滝沢　繁　議員

**質問**　**ＪＡ全農にいがたの２０２６年産魚沼コシヒカリの概算金は２万１千円と昨年比で下落していますが、この情勢について市長のお考えを伺います。**

**答弁**　物の価格は市場で形づくられることが原則であり、米も需要と供給のバランスによって価格が決定されるべきものと考えています。しかし、米は日本人の主食であり、ほかの農産物とは異なる面もあることから、過度な価格変動に対しては、政府として一定の政策的な介入や方針、方向性を示す必要があると考えています。特に、備蓄米の放出による民間在庫量の急激な増加などには、機敏な対応が必要であり、先般、鈴木農林水産大臣が当市に来訪された際にも、備蓄米の早期の買戻しを要望したところです。

**質問**　**市の基幹産業である農業は高齢化により山間部から耕作放棄地が出始めており、農業機械が壊れたら、農業をやめるという声も聞いています。農業者の現状の平均年齢と年齢構成、今後の十日町市の農業の展望を伺います。**

**答弁**　２０２０年に公表された農林業センサスでは、基幹的農業従事者の平均年齢は71・３歳、年齢構成では65歳以上の占める割合は81・７％です。今後の農業の展望ですが、当市にとって農業やキノコ産業などは、地域の将来を支えていく成長産業であり、さらに磨き上げることで地域の繁栄につながる大事な産業だと確信しています。令和６年の農業産出額は、米や園芸、畜産、キノコなど、それぞれ大きく増加しており、今後もさらなる成長を期待しています。また、十日町市で農業に挑戦し続ける担い手は大きな希望であることから、農地の集約や農業機械の導入、販路拡大など、それぞれの課題に向き合い、意欲を持って農業を続けられるよう支援していきます。



米の出来高は農家の暮らしに直結する



## 人口減を見据えた公共施設について・大地の芸術祭の今後

中林寛暁　議員

**質問**　**合併して20年経過した当市においては、各地域で重要な拠点である公共施設について、人口減少を踏まえ、将来を見据えた適正配置を考えていかなければなりません。❶各支所の今後の在り方について❷数多くあるスポーツ施設の適正配置及びスポーツ種目ごとの集約について**

**答弁**　①４つの支所は、各地域の特性に応じて多岐にわたり重要な機能を担っています。整理を前提とした支所の在り方については現在、検討していません。②施設ごとの利用状況に応じた再編や統合とともに、スポーツの魅力を引き出す機能の充実も重要と考えています。市民に必要な施設、サービスの姿を見極め、スポーツに親しむ環境の維持・発展に努めます。施設の集約化については、近接自治体とも併せて考えていく方向性も出ています。市内の施設は、集約化等も検討し、今後のスポーツ施設の充実を図る考えです。

**質問**　**節目となる第10回展を迎える大地の芸術祭の今後について、市長のお考えを伺います。**

**答弁**　各地域で芸術祭への関わり方や受け止め方に温度差が生じており、これまで築いてきた地域と芸術祭との関係にも変化が見られます。今後は、多様な主体が芸術祭をビジネスや交流、地域課題の解決などに活用できる環境を整えるとともに、ふるさと住民登録制度なども活用し、関係人口を増やしていくことが重要です。トリエンナーレを続ける場合には、アーティストによる新たな価値の創造・発見に重きを置き、それ以外の期間には、その価値を市民や多様な主体が育て、活用する形も考えられます。これまでの取り組みに感謝しつつ、これからの地域と芸術祭の関係を築いていく岐路に立っているものと捉えています。



ジェームズ・タレル「光の館」
Photo by Yamada Tsutomu



## 十日町市のこれからの農業、担い手育成支援について

水落静子 議員

**質問** **米価は昨年の高値から今年度は大幅に下落しています。こうした中、生産を支える農業者に対して十日町市としてどのように支援するのか、市長のお考えをお聞きします。**

**答弁** 市では、主に就農・経営開始に必要なスタートアップ支援や農業機械の導入支援、さらに栽培技術などの習得支援を行っています。市内で生産される農作物や当市の自然環境に大きな魅力を感じて、この地域で農業を頑張りたいという方が一人でも増えるように、関係機関と連携しながら引き続き新規就農、また担い手の確保、育成に取り組んでいく考えです。

**質問** **第3次十日町市総合計画において、農業における若者や担い手への支援として、スマート農業をどのように位置づけていますか。**

**答弁** 総合計画では、担い手の育成、確保に向け、効率的な農業経営の推進として、スマート農業機械の導入支援を位置づけています。市では令和元年度から市単独で農業機械の補助を開始し、令和7年度からはスマート農業機械に対する上乗せを実施、今年度は補助率、補助上限を大幅に拡充したところです。

**質問** **人口減少、高齢化社会における今後の農業施策、十日町市らしい農業施策をどのように考えていますか。**

**答弁** 当市には、大規模耕作が可能な地域や清らかな水を生かせる中山間地域、棚田など、全く異なる農業環境があります。これらの魅力を高め、地域ごとの課題に応じて農業者の声を伺いながら、きめ細かな支援策を積み重ねていきます。また、多様な農業に挑戦できる地域として発信し、農業の担い手を勧誘できるよう、それぞれの魅力を引き出していきます。



日本の圃場環境に適した農業用ドローン



## 高齢者支援とこどもたちの学びの充実について

根津年夫 議員

**質問** **高齢者支援について❶本市の一人暮らし高齢者の実態把握と課題❷見守り体制の現状と課題❸買い物支援対策の取組状況❹「高齢者が運転しなくても生活できる地域づくり」に向け地域交通の再構築を含む移動手段の確保について伺います。**

**答弁** ①市では毎年、高齢者現況調査を実施し現状を把握しており、独り暮らし高齢者世帯の増加が課題です。②民生委員、地域包括支援センター、地域自治組織などと連携し、体制を強化しています。課題は担い手の確保です。③地域住民が主体となり買い物支援に取り組む団体を支援しています。また、介護度の高い高齢者を対象としたタクシー利用料の一部助成を実施しています。④民間路線バスの運行維持に努め、撤退時には市営バス、予約型乗合タクシーを運行し、市民の交通手段の確保に取り組んでいます。

**質問** **こどもたちが愛着を持てるまちづくりのために❶地域資源を活かした学びや体験の現状と課題❷こども・若者の声をまちづくりに反映する取り組みの現状と今後の方向性を伺います。**

**答弁** ①芸術祭を活用した教育活動、ウインタースポーツ、雪国文化の継承、地域の農業者と連携した農業体験などを行っています。課題は少子化に伴う児童生徒の減少で、体験の選択肢が限られること、受入先の確保が難しいことなどです。②昨年度、市内の保育園等の年長児と放課後児童クラブの小学生193人、今年度は市内の中学2年生と高校2年生172人に意見聴取を実施し、意見をこども・子育てに関する施策に反映する予定です。今後は、意見聴取対象を30歳まで広げ、こども・若者から十日町市で育ってよかったと思っていただくように取り組んでいきます。




十日町市の見守り体制システム「緊急通報装置」

ひとり暮らしに、もう一つの安心を。
24時間365日、あなたを見守ります。

録画映像配信中▶ **二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。**（視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。）



## 十日町市の観光資源の展望について

福崎哲也 議員

**質問** **清津峡渓谷トンネルの集客力を持続させるための取り組みについて**

**答弁** 清津峡渓谷トンネルは絶えず進化していく必要があり、トンネル自体の在り方も変えていくべきだと考えています。例えばトンネル内の補助坑の活用、お土産販売所や2階の足湯の改良ができるのではないか思っています。

**質問** **❶笹山縄文広場整備事業は、博物館同様の施設か観光施設か、市長のスタンスは。❷笹山縄文広場は、国営や、県営施設となるよう要望したのか。❸現在の博物館の来場者数の現状認識からして、笹山縄文広場整備事業に向かう理由は。❹笹山縄文広場整備事業基本設計案で来場者の第一ターゲットとしている子育て世代に魅力がないと思うがどうか。**

**答弁** ①博物館は来場者やショップの売上げが増えています。笹山縄文広場は、博物館と連動する中で、国宝出土地としての価値を磨き、ツアーとして選んでいただけるように整備する段階に来ていると感じています。
②国が主体となって笹山遺跡を整備することは要望していませんが、財政的な支援について要望しています。
③色々な意味で課題はクリアしてきています。笹山縄文広場を博物館と一体的に活用する中で、縄文文化を体感・体験する新たな文化観光拠点として整備し、市内の様々な地域資源への回遊につなげていくことが重要です。
④縄文時代の暮らしや文化を楽しみながら追体験できる「屋外型の体験ミュージアム」というコンセプトで検討を進めています。笹山遺跡は、親子で多様な体験ができる場として展開ができると考えています。



笹山遺跡



## 憲法と障害者権利条約を踏まえた障がい施策を

樋口富行 議員

**質問** **国は障がい者を「医学モデル」として捉え、障害認定は身体機能を数値で評価している。一方「社会モデル」では、障がいがある人も人として同じ人格を有する人間として捉え、障害があるのは社会の側にあるとの考えである。そのため、日常生活や社会生活に様々な支障・困難が生じており、国連から勧告を受けている。❶十日町市の障がい者数の動向を伺う。❷障害者権利条約を踏まえ、当市の政策の現状と今後の展開を伺う。**

**答弁** ①障害者手帳の所持者数は、平成28年度末の3、244人から令和7年度末には2、952人に減少しましたが、人口に占める割合は5・93％から6・49％に上昇しています。種別ごとでは、身体障害者手帳の所持者が2、273人から1、788人と減少しており、人口に占める割合も0・22ポイント減少しています。療育手帳は、510人から547人、人口に占める割合は0・27ポイント増加、精神障害者保健福祉手帳は、461人から617人、人口に占める割合は0・52ポイントとこちらも増加しています。障がい種別によって動向に違いがあることから、今後も障がいのある方一人一人のニーズに応じた取り組みが必要であると考えています。②障がいのある人が住み慣れた地域で、必要な支援を受けながら自立した生活を送ることができるように、生活支援をはじめとした各種サービスの充実や相談支援体制の強化、社会参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。今後も憲法の基本原則と障害者権利条約の理念、関係法令にのっとり、障がいのある方やそのご家族のニーズ、地域の実情を捉え、障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる十日町市の実現に向けて取り組みます。



工房なかさとでの作業中の様子

## 議会をPick-Up!

# 9月定例会

**令和8年第3回定例会**
**会期　9月2日～18日（17日間）**

9月の定例会では、市長提出議案25件、議会提出議案4件、請願1件を審議しました。

### Pick-Up 01 一般会計補正予算〔第3号〕

〔主な事業および内容〕

**●要援護世帯除排雪援助事業**

近年の建設業の労務単価等の高騰により除排雪コストが上昇し、要援護世帯の冬期間における経済的負担が増大していることから、雪処理券の助成額と対象者を拡充します。



**●市外出産安心パック事業**

市内に分娩取扱施設がないため、市外で出産される妊婦に対し、不安解消と経済的負担の軽減を目的として一律5万円を給付する事業について、当初の見込みを上回ることから、不足分を増額します。

**●デジタル技術導入支援事業**

売上向上と賃上げの環境整備のため、市内事業所における業務の省力化・労働生産性の向上につながるソフトウェア及びハードウェアの導入を支援する事業について、当初の想定を上回ることから、不足する事業費を追加します。




**●越後妻有雪花火事業**

第10回展を迎える大地の芸術祭の記念事業として、越後妻有雪花火を6年振りに開催するため、必要な経費を計上します。

**●学区適正化検討事業**

「魅力ある十日町市立中学校づくり方針（案）」を受け、新たな中学校を設置するための立地検討委員会を立ち上げるため、必要な経費を計上します。

**●文化財保存事業**

十王堂（松代地域）、十王堂観音像群（松代地域）、瀬戸口隧道（中里地域）の3つについて、文化財の市指定に向けて、専門家による文化財詳細調査を実施します。


十王堂


十王堂観音像群


瀬戸口隧道

### Pick-Up 02 条例の制定・見直し

〔主な内容〕

**●農業施設災害復旧経費**

農地・農業用施設の融雪等による災害において、予算額が不足することから補助金額を増額します。また、豪雨・台風等による災害復旧の対応に備え、補助金額を増額します。

**●十日町市立学校設置条例の一部改正**

飛渡第一小学校が令和10年3月31日をもって閉校し、令和10年4月1日に中条小学校へ統合するための条例改正を行います。

**●十日町市千手温泉施設条例の一部改正**

今年12月に市内に開業するホテルから、千手温泉の温泉水を商用利用したいとの申し出を受けたことから、温泉水の供給に係る料金を設定します。

**●十日町市原子力発電施設等立地地域における市税の特例に関する条例の制定**

令和8年4月23日に十日町市全域が、原子力発電施設等立地地域に指定され、優遇措置の対象地域になりました。これにより普通交付税による財政支援を受けつつ、企業の設備投資に対して固定資産税等の軽減措置を図ることが可能となるため、新たに条例を制定します。

### Pick-Up 03 意見書の提出

議員が提出した次の意見書を可決しました。

内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るように要望します。

**●「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書**

**●米価の安定と政府備蓄米の適正水準の確保を求める意見書**



# 9月定例会 議決結果

| 議案番号等 | | 件名 | 付託委員会 | 採決状況 | 議決結果 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市長提出議案 | 100 | 和解について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 101 | 十日町市手数料条例の一部を改正する条例制定について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 102 | 十日町市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について | 総務文教 | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 103 | 十日町市千手温泉施設条例の一部を改正する条例制定について | 産業建設 | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 104 | 十日町市松代ファミリースキー場条例の一部を改正する条例制定について | 産業建設 | 賛成多数 | 原案可決 |
| | 105 | 十日町市松之山温泉スキー場条例の一部を改正する条例制定について | 産業建設 | 賛成多数 | 原案可決 |
| | 106 | 十日町市原子力発電施設等立地地域における市税の特例に関する条例制定について | 産業建設 | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 107 | 市道の変更について | 産業建設 | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 108 | 令和８年度十日町市一般会計補正予算（第３号）について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 109 | 令和８年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 110 | 令和８年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第２号）について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 111 | 令和８年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第２号）について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 112 | 令和８年度十日町市水道事業会計補正予算（第２号）について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 113 | 令和８年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第２号）について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 114 | 令和８年度十日町市下水道事業会計補正予算（第２号）について | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 115 | 令和７年度十日町市一般会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別 | 賛成多数 | 認　定 |
| | 116 | 令和７年度十日町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別 | 賛成多数 | 認　定 |
| | 117 | 令和７年度十日町市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別 | 全員賛成 | 認　定 |
| | 118 | 令和７年度十日町市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別 | 全員賛成 | 認　定 |
| | 119 | 令和７年度十日町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別 | 賛成多数 | 認　定 |
| | 120 | 令和７年度十日町市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別 | 賛成多数 | 認　定 |
| | 121 | 令和７年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算認定について | 決算審査特別 | 全員賛成 | 認　定 |
| | 122 | 令和７年度十日町市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について | 決算審査特別 | 全員賛成 | 認　定 |
| | 123 | 令和７年度十日町市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定について | 決算審査特別 | 全員賛成 | 認　定 |
| | 124 | 令和７年度十日町市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について | 決算審査特別 | 全員賛成 | 認　定 |
| 請願 | 2 | 「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の採択を求める請願 | 総務文教 | 全員賛成 | 採　択 |
| 議会提出議案 | 7 | 「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書 | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 8 | 米価の安定及び政府備蓄米の適正水準の確保を求める意見書 | — | 全員賛成 | 原案可決 |
| | 9 | 非核三原則の堅持を求める意見書 | — | 賛成少数 | 否　決 |
| | 10 | 議員派遣について | — | 全員賛成 | 原案可決 |

## 賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※村山達也議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

| 議案番号等 | 議決結果 | 賛成 | 反対 | かがやき | | | | | | 希望 | | | | 日本共産党十日町市議団 | | | 新成会 | | | | 無会派 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 富井高志 | 山家悠平 | 水落静子 | 鈴木一郎 | 市川直子 | 滝沢青葉 | 根津年夫 | 中林寛暁 | 遠田延雄 | 大嶋由紀子 | 滝沢繁 | 富井春美 | 樋口富行 | 星名大輔 | 野沢浩平 | 福崎哲也 | 俵山裕 | 小林正夫 | 村山達也 |
| 104 | 原案可決 | 13 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | － | ○ | × | － | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ |
| 105 | 原案可決 | 13 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | － | ○ | × | － | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ |
| 115 | 認　定 | 13 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | － | ○ | × | － | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ |
| 116 | 認　定 | 13 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | － | ○ | × | － | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ |
| 119 | 認　定 | 13 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | － | ○ | × | － | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ |
| 120 | 認　定 | 13 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | ○ | ○ | ○ | － | ○ | × | － | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ |
| 議9 | 否　決 | 3 | 12 | × | × | × | × | － | × | × | × | － | × | ○ | － | ○ | × | × | × | × | ○ | ※ |

●発行／十日町市議会　●E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp　●編集／議会だより編集委員会

# 議会活動・議員有志による イベント参加の様子



6月14日(日)
十日町市議消防団
春季消防演習



7月10日(金)
上越魚沼地域振興快速道路
八箇峠道路現場視察会




8月25日(火)
十日町おおまつり
民謡流し



10月12日(月・祝)
市長杯争奪
ゲートボール大会

## ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で一般質問を放送しています!

一般質問をした当日、夕方７時から放送していますので、ぜひお聴きください。

## インターネットで本会議の様子を配信しています!



本会議の模様を生中継・録画中継しています。ホームページからアクセスしてください。スマートフォン、タブレットからも視聴できます。



十日町市議会　検索

市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください。

今号の表紙は

## 十日町総合高校写真部

の作品です。



写真部では、人物を中心とした写真撮影をしています。一人ひとりが被写体の表情や雰囲気を大切にしながら撮影を楽しんでいます。部員同士は先輩・後輩関係なく仲が良く、和やかな雰囲気の中で活動をしています。写真を通して学校生活の思い出を形に残せることが写真部の魅力です。

## あとがき

９月定例会は、令和７年度の決算審査を主な議題とする決算議会として開催されました。令和７年度は市長選挙を控えていたため、当市では初めて、義務的経費のみを計上した骨格予算を当初予算とし、改選後には、政策的経費などを反映させた補正予算を編成した年度でした。

今号の議会だよりでは、決算審査の内容を掲載しています。決算議会が終わると、来年度の予算編成が始まります。決算審査の様子や各議員の一般質問などをご覧いただき、次年度予算にどのように反映されているか、市民の皆様にもこの議会だよりを通して注視していただければと思います。

中林寛暁

【お問い合わせ】
十日町市議会事務局
〒948-8501
十日町市千歳町３丁目３番地
市役所本庁舎３階
電話 025-757-3119
FAX 025-757-5999